

令和3年3月8日

本学学生の皆様へ

第63回北大祭の開催検討の現状について

北海道大学大学祭全学実行委員会 実行委員長 小林 俊介

第63回北大祭の開催判断について

第63回北大祭の開催判断は後述のとおり2021年4月5日（月）実施予定の2021年度前期第1回北海道大学大学祭全学実行委員会にて下します。当会議における選択肢は下記のとおりです。当実行委員会は現在当会議においてどの選択肢を採用した場合においても対応可能なよう準備を進めております。

<選択肢1：6月（従来どおりの日程）における対面形式での縮小開催>

オンライン形式での開催では北大祭の魅力が著しく低下するばかりでなく北大祭として掲げる理念（学生が主体的に活動すること・地域社会への貢献がなされること・人々の交流が促進されること）の完遂が難しいこと、また昨年に引き続き対面形式での開催ができないと当実行委員会における運営メソッドの引き継ぎ不足により2022年度以降への接続が一層難しくなってしまうこと等を理由に、当実行委員会は対面形式での開催を第一目標と掲げております。こちらの選択肢を採用した場合の新型コロナウイルス感染症対策については現在当実行委員会・本学当局間で調整を進めておりますが、新型コロナウイルス感染症対策に係る必要経費の増加等を理由として参加可能な団体数が可能な限り多く見積もっても半分にまで減少し、それも相まって1団体当たりの負担が増加してしまうことが予想されております。またこちらの選択肢を採用した場合においても第63回北大祭直前に情勢が悪化した等の理由で中止または延期となる可能性があります。

<選択肢2：6月（従来どおりの日程）における全面的なオンライン形式での開催>

第63回北大祭の公式Webサイトを主軸として、YouTube・Zoom等を用いた研究発表・文化発表の録画配信・LIVE配信を実施企画の中心とした開催形態を検討しております。

<選択肢3：2021年秋（10・11月頃）の開催へ向けた延期>

こちらの選択肢には「7・8月頃に新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、全面的なオンライン形式での開催へと移行する」という可能性を含みます。2日間の開催日程の確保が難しい、屋外の模擬店に深夜常駐し機材等を見張る深夜機材番の負担が大きい等の問題がありますが、対面形式での開催可能性を可能な限り高めることができるため情勢や本学当局の出方によっては有力な候補として検討しております。

本学における課外活動の規制緩和について

今年度においては、第63回北大祭の対面形式での開催可能性を可能な限り高めることなどを目的として、当実行委員会は本学当局に対し本学における課外活動一般の規制緩和を要望いたしました。詳細は別文書「本学における課外活動の規制緩和について」をご確認ください。

本件に係る連絡先

北海道大学大学祭全学実行委員会 実行委員長 小林 俊介

MAIL：huf@hokudaisai.com

※ 全学実委は公開で行われます。傍聴を希望する方はこちらの連絡先までご連絡ください。